

令和5年度6案件に関する 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」署名式

9月13日、大使公邸において、我が方相木大使と、以下の各被供与団体代表者との間で、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」案件に関する贈与契約が署名されました。今回の署名により、現在までのタジキスタン国内における支援案件数は、計459件となりました。

- 1 「トゥルスンゾダ市セシャンベ村第30学校新校舎建設計画」
供与限度額：91,280米ドル 署名者：パルヴィズ・アクラムゾダ トゥルスンゾダ市長
- 2 「ヴァフダト市バホール地区新規学校建設計画」
供与限度額：91,280米ドル 署名者：ミルゾ・イスモイルゾダ ヴァフダト市長
- 3 「ノラク市第9学校新校舎建設計画」
供与限度額：97,541米ドル 署名者：ディルショッド・アソゾダ ノラク市長
- 4 「ファイゾボド郡ザルカマール村新学校建設計画」
供与限度額：132,708米ドル 署名者：ボビショ・クホルゾダ ファイゾボド郡長
- 5 「ヴァフシュ郡レーニン第1村第22学校新校舎建設計画」
供与限度額：106,243米ドル 署名者：クルボナリ・ユスロフ ヴァフシュ郡長
- 6 「ドゥシャンベ市第15保健所医療機材整備計画」
供与限度額：100,120米ドル 署名者：ホキマ・アスフィヤエヴァ ドゥシャンベ市第15保健所長

署名式の挨拶で相木大使は、日本がタジキスタンにおいて「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みで、数多くのプロジェクトを実施してきたことに触れ、今回署名された6案件においても、プロジェクト完了後、建設された校舎及び整備された医療機材が各コミュニティ及びタジキスタンの発展に寄与することを願う旨述べました。これに対し、各被供与団体の代表者からは、日本政府及び日本国民からの支援に対する感謝が表明されました。

